



ジョブのスケジュール

バルク トランザクションをスケジュールし、これらのトランザクションを開始する必要がある時刻を指定できます。

Cisco CallManager Administration の Bulk Administration メニューを使用して送信されたすべてのジョブは、Bulk Provisioning Service (BPS) のキューに入ります。ジョブに対して指定された開始時刻に従って、トランザクションが実行を開始します。開始時刻を指定しない場合、トランザクションは、受信した順に実行されます。

次のトピックでは、BPS のアクティブ化とジョブのスケジュールについて説明します。

- [Bulk Provisioning Service のアクティブ化 \(P.51-2\)](#)
- [BPS の起動 / 停止 / 再起動 \(P.51-3\)](#)
- [BPS の非アクティブ化 \(P.51-4\)](#)
- [ジョブの検索 \(P.51-4\)](#)
- [ジョブのスケジュール \(P.51-6\)](#)

Bulk Provisioning Service のアクティブ化

実行のジョブを送信する前に、BPS をアクティブ化する必要があります。

BPS をアクティブ化する手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** Cisco CallManager Serviceability ウィンドウから、**Tools > Service Activation** の順に選択します。
- Service Activation ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** Service ドロップダウンリスト ボックスから、Cisco CallManager を実行するサーバを選択します。
- ステップ 3** Database and Admin Services 領域で、Cisco Bulk Provisioning Service に対応するチェックボックスをオンにします。



(注) サービスがすでにアクティブ化されている場合は、Activation Status に **Activated** と表示されます。

- ステップ 4** **Update** をクリックします。
- ステップ 5** ウィンドウが更新され、Bulk Provisioning Service に対応する Activation Status に **Activated** と表示されます。



(注) アクティブ化されると、BPS は自動的に起動します。このサービスの停止、起動、再起動については、[P.51-3](#) の「**BPS の起動 / 停止 / 再起動**」を参照してください。



(注) サービスを起動するたびに、BPS は Cisco CallManager データベースと同期されます。

BPS の起動 / 停止 / 再起動

Cisco CallManager Serviceability を使用してアクティブ化されると、BPS は自動的に起動します。この項では、BPS を停止または再起動する手順について説明します。

手順

ステップ 1 Cisco CallManager Serviceability で、**Tools > Control Center - Feature Services** の順に選択します。

Control Center-Feature Services ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 Servers ドロップダウン リスト ボックスから、Cisco CallManager サーバを選択します。

Database and Admin Services 領域のリストの Service Name カラムの下に、Cisco Bulk Provisioning Service が表示されます。



(注) P.51-2 の「[Bulk Provisioning Service のアクティブ化](#)」を使用して BPS をアクティブ化した場合は、Status に Activated と表示されます。

ステップ 3 BPS に対応するチェックボックスをオンにします。

ステップ 4 BPS を再起動する場合は、**Restart** をクリックします。

サービスが再起動し、Service Successfully Restarted というメッセージが表示されます。

ステップ 5 BPS を停止する場合は、**Stop** をクリックします。

サービスが停止し、Service Successfully Stopped というメッセージが表示されます。

ステップ 6 停止した BPS を起動する場合は、**Start** をクリックします。

サービスが起動し、Service Successfully Started というメッセージが表示されます。

BPS の非アクティブ化

必要ない場合は、BPS を非アクティブ化できます。この項では、BPS サービスを非アクティブ化し、ツールからログアウトする手順を説明します。

手順

-
- ステップ 1** Cisco CallManager Serviceability で、**Tools > Service Activation** の順に選択します。
- Service Activation ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** Servers ドロップダウン リスト ボックスから、Cisco CallManager サーバを選択します。
- Database and Admin Services 領域のリストの Service Name カラムの下に、Cisco Bulk Provisioning Service が表示されます。
- ステップ 3** Cisco Bulk Provisioning Service に対応するチェックボックスをオフにし、**Update** をクリックします。
- サービスが非アクティブになり、Status カラムに Deactivated と表示されます。
-

ジョブの検索

Cisco CallManager Administration の Bulk Administration メニューを使用して、すでに BPS に送信されたジョブを検索する手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** **Bulk Administration > Job Scheduler** の順に選択します。Find and List Job ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 最初の Find Job where ドロップダウン リストボックスから、次のいずれかの検索基準を選択します。
- User
 - Status
 - Job ID
 - Description
 - Scheduled Date Time
- ステップ 3** 2 番目の Find Job where ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかのオプションを選択します。
- begins with
 - contains
 - is exactly
 - ends with
 - is empty
 - is not empty

ステップ 4 3 番目のドロップダウン リスト ボックスで、**Show** を選択して完了したジョブを表示します。

ステップ 5 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。

**ヒント**

データベースに登録されたすべてのジョブを検索するには、検索テキストを入力せずに **Find** をクリックします。

ステップ 6 複数のフィルタを追加するには、**AND** または **OR** を選択します。クエリーをさらに定義するには、ステップ 2 ~ 5 を繰り返します。

ステップ 7 **Find** をクリックします。

検索されたジョブのリストが、次の項目別に表示されます。

- Job Id
- Scheduled Date Time
- Submit Date Time
- Sequence
- Description
- Status
- Last User

**(注)**

Run Later オプション ボタンが選択されている場合は、ジョブをスケジュールしている間、Status に Hold と表示されます。Run Immediately オプション ボタンが選択されている場合は、Status に Pending と表示されます。完了したジョブの場合、Status に Completed と表示され、エラーで完了しなかったジョブの場合、Status に Incomplete と表示されます。

ステップ 8 スケジュールまたはアクティブ化する、処理中または保留のジョブの Job ID をクリックします。job Configuration ウィンドウが表示されます。

その他の項目

詳細については、P.51-8 の「関連項目」を参照してください。


ジョブのスケジュール

送信されたジョブをスケジュールする手順は、次のとおりです。

手順

- ステップ 1** P.51-4 の「[ジョブの検索](#)」の手順に従って、スケジュールするジョブを表示します。
- ステップ 2** Job Configuration ウィンドウで、[表 51-1](#) の手順に従ってジョブのスケジュールまたはアクティブ化の設定を入力します。

表 51-1 ジョブの設定

フィールド	説明
Job Id	ジョブが送信されるときに作成されるジョブ ID が表示されます。
Job Status	ジョブのステータスとして、次のいずれかのオプションが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • Hold • Pending • Completed • Incomplete
Scheduled Date Time	ドロップダウンリストボックスから、月、日、年を選択します。ジョブをスケジュールする時刻を入力します。
Submit Date Time	ジョブが送信される日時が表示されます。
Sequence	ドロップダウンリストボックスで、ジョブを実行する順序を選択します。1 から 20 までの数を選択できます。  (注) 2 つ以上のジョブについてスケジュール済みの日時が同じ場合、この順序に従ってこれらのジョブが BPS のキューに入れます。スケジュール済みの日時と順序が同じ場合、ジョブは送信日時に従ってキューに入れます。
Job Description	ジョブを作成したときに入力した説明が表示されます。
Frequency	次のオプションからトランザクションの頻度を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • Once • Monthly • Weekly • Daily • Hourly <p>たとえば Daily を選択すると、Schedule Time and Date フィールドに入力した時刻にトランザクションが毎日繰り返されます。</p>
Job End Time	反復（定期）ジョブの終了時刻が表示されます。
last Modified By	このジョブを最後に変更した管理者の ID が表示されます。

ステップ 3 **Activate job** をクリックして、スケジュールされた時刻にジョブをアクティブ化するか、**Save** をクリックして設定を保存し、ジョブを後でアクティブ化します。

Find and List Jobs ウィンドウが表示されます。



(注) ジョブを保存するが、アクティブ化しない場合は、ジョブの状態が **Hold** と表示されます。これらのジョブは、アクティブ化されるまで **BPS** では処理されません。

ステップ 4 アクティブ化したジョブの ID をクリックします。Job Configuration ウィンドウの Job Results 領域に、完了、未完了、停止要求中、処理中のすべてのジョブについて、以下の情報が表示されます。

- ジョブの開始日
- ジョブの結果ステータス
- 処理済みのレコード数
- 失敗したレコード数
- 合計レコード数
- ログファイル名



(注) Log File Name カラムのリンクをクリックすると、このトランザクションのログファイルが表示されます。

ステップ 5 ジョブのリストに戻るには、Related Links ドロップダウン リストボックスから **Back to Find/List** を選択し、**Go** をクリックします。

関連項目

- [Bulk Provisioning Service のアクティブ化 \(P.51-2\)](#)
- [BPS の起動 / 停止 / 再起動 \(P.51-3\)](#)
- [BPS の非アクティブ化 \(P.51-4\)](#)
- [ジョブの検索 \(P.51-4\)](#)
- [ジョブのスケジュール \(P.51-6\)](#)